



自分を変え、
会社を変え、
社会を変える。



R

チエンジ・メイカー育成プログラム（4期）

新しいリーダーを生み出す社会人PBLと越境体験

挑戦を続ける「群馬県上野村」をフィールドに
地域循環型社会、サステナブルな未来を展望し、
多様なチームで実践的な解決策を提案する3か月間の他流試合型プログラム

新しいリーダーを生み出す社会人PBLと越境体験

挑戦を続ける「群馬県上野村」をフィールドに
地域循環型社会、サステナブルな未来を展望し、
多様なチームで実践的な解決策を提案する3か月間の他流試合型プログラム

2022.8.05 立命館東京キャンパス 所長 宮下 明大



社会人リカレントプログラム開設の背景

1. 「人生100年時代」= 働くことと学ぶことの往還（社会人ならでの学び）
2. 「座学」や「知識伝授型講義」からの“学び方”転換
3. 「教えてもらう」のではなく「気づく」「学びあう」「振り返る」学習スタイル
4. 大学と社会との接続（「唯一の正解」が無い社会課題との向き合い）
5. 新しいタイプの社会人リカレント教育プログラムの実証事業

チェンジ・メイカー育成プログラムのポイント

1. 「大都市圏」と「地方」との経験交流・人材交流
⇒地方の現状、企業や地域の課題を知る・視野を広げる
ライフキャリアデザイン、働き方、生き方の転換を考える機会に
2. 脱・予定調和のP B L（Project-Based Learning）課題解決型学習
⇒背景の異なる受講者が「安心・安全な場」で真剣に議論する、自分事として「課題の現場」で課題を見つけて実現可能な解決策をチームで提案
3. 自分自身の成長・変化を可視化する
⇒プログラムの“プレとポスト”でアセスメントテスト（EQ）を実施

◎対面（立命館東京C・群馬県上野村）と遠隔（ZOOM）を併用したハイブリッド開催

◎日常の仕事に負担とならないよう配慮しながら、ファシリテーターが伴走します

「チェンジ・メイカー育成プログラム（4期）」

開催期間：2022年10月～12月（①10/21・・・FW11/4～5・・・⑧12/16）
平日夜間＋金・土曜を中心に全9回 対面＋オンライン

【プログラムの構成】

「スキル系科目(WEBオンデマンド)」 「グループワーク（オンラインセッション）」 「フィールドワーク」 = 合計約40時間のプログラム =

<スキル系科目>

- ・プロジェクトマネジメント、マーケティング、ロジカルシンキング、
など 自宅での事前学習（オンデマンド）

<グループワーク：PBL>

- ・立命館東京キャンパス（オンライン） ・フィールドワーク（群馬県上野村）

【プログラムの進め方】

- 4～5名で1チームを編成、各チームでのPBL活動を予定
- 協力企業・団体からの情報提供→チームでリサーチ「課題発見～課題解決案」
- 期間中は、チーム毎で随時ミーティング（対面・遠隔）を実施しながら進捗

1. 課題を探る

上野村の基礎資料を読み、レクチャーを受け、様々な角度から社会課題について考えます。

- プログラム開始前にEQを受検して自分の特徴を知り、プログラムへの参加目標を立てます。
- プログラム開始前～前半にかけては、ビジネスで有用なオンライン教材などを使用しながら、自主的な学習も進めていただきます。

①魅力あふれるむらづくり ②自立した循環型むらづくり ③住み続けたいむらづくり

2. チームで挑む

4～5名で1つのチームを作り、チームごとに課題に取り組んでいきます。

- PBLで取り組む課題の分野（例：「観光産業」「一次産業」など）は、事前にアンケートを行い、ある程度受講者の希望にそってチームを作ります。
- 各チームは「Slack」のチャンネルを使って、意見交換、資料作成など情報を共有します。

3. ゴールを目指す

チームで『課題を設定→仮説を立てる→解決策の検討→実現可能な提案づくり』をサイクルとして繰り返しながら、精緻化をはかり、解決策を検討していきます。

- 前半のセッションでは、地域振興についての講義があります。
- 各セッションごとに、受講者は「リフレクションペーパー」を作成し、ファシリテーターがフィードバックを行います。

4. 成果報告会(上野村)

各チームが取り組んだ内容についてプレゼンテーションを行い、関係者の方々から評価・コメントをいただきます。提案の実現に向けて更なる対話を続けます。

【EQテスト、キャリア面談】

オンラインでEQテストを受検(2回)、プログラム前と後との変化を数値化し、検証します。希望者には、カウンセラーによる「キャリア面談(2回)」も実施します。

【現地でのフィールドワーク】

セッション3では、現地(群馬県上野村)に赴いてリサーチを行い、現地事業者と対話します。フィールドワークはチームによる活動です。他チームとの交流・意見交換の時間もあります。

【ファシリテーターのサポート】

ファシリテーターが、セッションの進行とチーム、受講者のサポートをします。

【教員によるオフィスアワー】

セッションの途中で、チームごとにオフィスアワーを設定し、担当教員が課題解決にむけてサポートします。

【参考】2021年度（3期）長崎県 雲仙市



【PBLのテーマ】

テーマA: 雲仙温泉の活性化について

テーマB: 雲仙を食べるプロジェクト(竹田かたつむり農園を事例として)

テーマC: 雲仙オリーブの未来(ナチュラルファーマーミング社のブランディングと販路開拓)

【成果(各チームの提案)】

A: 人、歴史、文化に焦点をあてたストーリーブランディングで観光客への差別化(観光PR動画の作成)

A: 祈りの大地『島原・雲仙100kmウォーク』(雲仙温泉を拠点に島原半島の様々な名所を巡るツアー)

B: 竹田かたつむりロードマップ(観光局との連携・企業対象農業体験・特別支援学校への授業と雇用創出)

C: オリーブを通して雲仙全体を幸せに 夢をカタチにUZEN OLIVE LAND (UOL)計画

湯せんべいxASMR

雲仙 x ***

ルート概要：原城ルート

距離：18.3km
徒歩：3時間43分

Start 雲仙温泉

2.3km カトリック雲仙教会

3時間43分 11.4km 日野江城跡

世界文化遺産 島原・天草一揆の舞台となった城

出所：Googleより情報を入手し、各チームにて作成

世代を超えて雲仙を訪れる♪
オリーブリーのオーナー制度に対する提案

【オリーブを記念樹に！】

家族と共に成長する

タイムカプセルを埋めたり・・・
20年前の手紙が届いたり・・・

時を形に・・・



「チェンジ・メイカー育成プログラム（４期）」

詳しくは 立命館東京キャンパスのホームページ「講座案内」をご覧ください

http://www.ritsumei.ac.jp/tokyocampus/course_guide/detail/?course_id=29

○開催日程 10/21.10/27.11/4-5.11/17.11/24.12/1.12/8.12/16.12/22

(* オレンジ色は対面 クロ色は遠隔)

○募集人数 約25名

○受講料 1名につき 188,000 円 (交通費・宿泊費別)

○申込締切 1次締切：9月9日 2次締切：10月3日

* 申込書は「講座案内」からダウンロードできます

●お問合せ先 立命館東京キャンパス「チェンジ・メイカー育成プログラム」事務局

メール：tokyo-kz@st.ritsumei.ac.jp

電話：03-5224-8188 (月曜～金曜 9:00～17:30)